

## 事業名：問題行動対策事業

学校教育支援室参事（学校教育支援）

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	03 青少年健全育成の推進							
基本事業	02 心のケアの充実							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒</li> <li>・児童生徒の保護者並びに教育関係者</li> </ul>	
手段（事務事業の内容、やり方）	
専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
巡回街頭指導等により、児童生徒の非行防止に努め、健全育成を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,772	9,441	9,274
対象指標2						
活動指標1	巡回街頭実施回数	回	490	447	476	440
活動指標2						
成果指標1	補導された小中学校児童生徒数	人	50	38	32	40
成果指標2						
事業費(A)		千円	6,414	6,382	6,407	6,619
正職員人件費(B)		千円	4,816	3,206	6,250	5,868
総事業費(A+B)		千円	11,230	9,588	12,657	12,487

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回街頭指導の実施</li> <li>・祭典巡回指導の実施</li> <li>・江別市指導連絡会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任指導員等報酬 5,917千円</li> </ul>

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
児童生徒の非行防止のため
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
指導センターは国の「少年補導センター運営に関する指導要領」に基づいて運営されてきたものである。ほとんどの都市においても類似の機能を持った役割組織があり、青少年の健全育成という命題達成の施策のひとつであると考えられる。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
児童生徒の心理状態は不安定で常に非行に陥る可能性を多くの青少年が持っているが、指導活動に取り組むことで1人でも多くの青少年を非行化から守ることが健全な青少年育成の上で欠かせないと思う。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
補導された児童生徒数が減少しており、今後も継続的に巡回街頭指導に取り組む必要がある。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
巡回街頭指導は非行の防止や犯罪被害の未然防止のためのものであるうえ成果に速効性はないが、地域や関係機関と連携しながら活動を継続することが補導される小中学生の減少につながる。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
事業内容は、マンパワーを必要とするものであり、各種のボランティアと協力しながら事業遂行をしているが、当該事業のボランティアによる事業運営は困難である。	